

土技第572号  
平成27年2月20日

熊本県建設産業団体連合会  
会長 橋口 光徳 様

熊本県土木部土木技術管理課長

土木工事成績評定シートの「上記以外の工事」欄で評定する  
工種の追加について（通知）

土木工事評定シートのうち、検査員が行う品質及び出来栄の成績評定において、「上記以外の工事」欄で評定する工種に新たに下記工種を追加しましたのでお知らせします。

なお、ご多忙の折り恐縮ですが貴連合会の各会員へも周知いただきますよう併せてお願いいたします。

記

- 1 施行基準日 : 平成27年4月1日以降の評定から適用。
- 2 追加工種 : ①軽量盛土工（EPS）  
②落石防護柵工  
③鋼矢板工  
④グラウンドアンカー工
- 3 評価対象項目 : 別添のとおり。

（問い合わせ）  
土木技術管理課 坂本、山本  
TEL096-333-2490

■別紙-3①、別紙-3②の「上記以外の工事」欄で評価する工程一覧

	品質に関する評価対象項目	出来栄に関する評価対象項目
プレキャスト側溝据付工	<p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>基礎地盤に緩みがなく、施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>埋戻材料の材質及び締固めが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>路面との高さの取り合わせがよく排水性を確保していることが確認できる。</p> <p>設計図書で定められた縦断勾配を満足しており、滞水がない。</p> <p>縦目節が水密性を保ち(漏水がない)、段差がないことが確認できる。</p> <p>蓋に緩みやガタツキがないことが確認できる。</p>	<p>通りが良い。</p> <p>既設構造物等へのすりつけが良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>雨水処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
プレキャスト擁壁据付工	<p>舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。</p> <p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>基礎地盤の掘り過ぎがなく、施工基面が平滑に仕上げられており、沈下等によるクラックがないことが確認できる。</p> <p>埋戻材料の材質及び締固めが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>埋戻材料の材質及び締固めが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>壁体相互に食い違いが生じていないことが確認できる。</p> <p>縦目節が付着性、水密性を保つように施工していることが確認できる。</p> <p>調整コンクリートの材質及び施工方法が適切であることが確認できる。</p> <p>進行性又は有害なクラックが無い。</p>	<p>通りが良い。</p> <p>既設構造物等へのすりつけが良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
ブロック積工(道路)	<p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>基礎地盤の掘り過ぎがなく、施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>ブロックを損傷なく設置していることが確認できる。</p> <p>ブロックのかみ合わせが適切で、裏込材の吸出しの恐れが無いよう行っていることが確認できる。</p> <p>裏込材及び鋼込コンクリートの充てんまたは締固めが、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。</p> <p>ブロックの端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。</p> <p>伸縮目地、水抜きを設計図書に基づき配置していることが確認できる。</p> <p>進行性又は有害なクラックが無い。</p>	<p>通りが良い。</p> <p>既設構造物等へのすりつけが良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>天端及び端部の仕上げが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
補強土壁工	<p>盛土材の使用にあたって監督員の承諾を得ており、土質試験結果に基づき、適切な条件で締固めを実施していることが確認できる。</p> <p>第1層の補強材の敷設に先立ち、基礎面に排水処理を行っていることが確認できる。</p> <p>設計図書に示された規格及び敷設長を有する補強材を所定の位置に設置している。また、補強材の敷設が水平であり、たるみや凹凸がない。</p> <p>横断方向に敷設する面状補強材に縦目を設けていない。縦断方向の補強材には5cm程度の重ね幅を確保している。</p> <p>盛土材のまき出し及び締固めを壁面側から順次施工しており、補強材にすれや損傷がないように締固めていることが確認できる。</p> <p>壁面の直線性や変形を確認しながらターンバックル等で壁面調整をしている。また、盛土に先行して組立てる壁面の段数は2段までとしている。</p> <p>壁面工付近や隅角部の締め固めを、振動コンパクタや小型振動ローラ等を用いて入念に締め固めていることが確認できる。</p> <p>進行性又は有害なクラックが無い。</p>	<p>通りが良い。</p> <p>既設構造物等へのすりつけが良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
井桁ブロック工	<p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>基礎地盤の掘り過ぎがなく、施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>部材に無理な力がかからないように法原から順序良く施工している。</p> <p>部材に衝撃がないように中詰め石を入れ、部材に損傷がない。</p> <p>中詰め石に土砂を混入していないことが確認できる。</p> <p>裏込(胴込)材を十分に締固めていることが確認できる。</p> <p>背後地山に接する箇所へ吸出し防止材を設置していることが確認できる。</p> <p>進行性又は有害なクラックが無い。</p>	<p>通りが良い。</p> <p>既設構造物等へのすりつけが良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
カルパート工(二次製品)	<p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>基礎地盤の掘りすぎによる緩みがなく、施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>土質調査資料や原位置試験等により、基礎地盤の許容支持力を把握しながら施工していることが確認できる。</p> <p>下流側または低い方から設置し、接合面に食い違いがないことが確認できる。</p> <p>ボックスカルパートの縦締めを「道路土工-カルパート工指針-敷設工」に基づき行っていることが確認できる。</p> <p>埋戻材料の材質及び締固めが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>縦目節が水密性を保ち(漏水がない)、段差がないことが確認できる。</p> <p>進行性又は有害なクラックが無い。</p>	<p>通りが良い。</p> <p>既設構造物等へのすりつけが良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
落石防護網工	<p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>縦ロープ、横ロープ、補強ロープ等の配置、間隔、径が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>現地の土質条件を確認し、アンカー及び支柱を適切に配置し、施工していることが確認できる。</p> <p>アンカーの根入れ長が設計図書の仕様を満足しており、また、岩盤用アンカーのグラウト処理が適切であることが確認できる。</p> <p>想定される荷重に対して、アンカーが所定の耐力を有していることが確認できる。</p> <p>現地の地山形状を確認して適切な長さの支柱を使用しており、落石対策が機能していることが確認できる。</p> <p>結合コイルでロープと金網を適切に連結していることが確認できる。</p> <p>地山と最下段の横ロープと間に過度な隙間がなく、落石がネット内から容易に路面に転がり出る恐れがないことが確認できる。</p>	<p>地山との取り合いが良い。</p> <p>金網やロープのたるみがない。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
カゴマット工	<p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>基礎地盤の掘り過ぎがなく、施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>側網、仕切網、底網等の鉄線の線径及び部材の配置が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>連結コイルのコイル長、接続長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>詰石の大きさが設計図書の仕様を満足しており、空隙が少ないことが確認できる。</p> <p>詰石作業によるカゴ材の損傷や、側壁、仕切り等の扁平がないことが確認できる。</p> <p>カゴ材に変形がなく、安定していることが確認できる。</p> <p>吸出し防止材の重ね部は上流側が上面になっていることが確認できる。</p>	<p>通りが良い。</p> <p>既設構造物等へのすりつけが良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
砂防ソイルセメント工	<p>配合試験、現地発生土の物性試験及び混合水の水质試験を実施しており、品質(強度、単位セメント量、含水比(単位水量)、最大粒径等)が確認できる。</p> <p>試験施工により、混合時間、転圧回数、敷均し厚等を決定していることが確認できる。</p> <p>材料の計量記録、含水比試験の記録等により、示方配合を満足していることが確認できる。</p> <p>材料の混合時間を管理及びフェノールフタレイン溶液の散布によって、均一な混合状態となっていることが確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用した供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>現場密度試験の結果が規格値を満足していることが確認できる。</p> <p>運搬打設の時間・方法、敷均し、締固め、打継目処理、養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>施工基面を乱さず、平滑に仕上げていることが確認できる。</p>	<p>構造物の通りが良い。</p> <p>天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</p> <p>クラックがない。</p> <p>漏水がない。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>

<p>軽量盛土工 (EPS)</p> <p>(今回追加)</p>	<p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>施工基面を緩めず、平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>発砲スチロール材等に變形、割れ、欠けが無いことが確認できる。</p> <p>軽量盛土工材の設置にあたり、隙間及び段差が生じないように施工していることが確認できる。</p> <p>再下層ブロックは緊結金具を用いて固定していることが確認できる。</p> <p>軽量盛土工材への浮力の影響を排除するため、地下水や湧水処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>軽量盛土工材の仮置きにあたり、飛散しないようネットで覆っていることが確認できる。</p> <p>軽量盛土工材の紫外線からの劣化防止のため、シートで覆っていることが確認できる。</p>	<p>土工関係の仕上げが良い。</p> <p>通りが良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
<p>落石防護柵工</p> <p>(今回追加)</p>	<p>指定材料の規格・品質が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>現場の斜面勾配、斜面の凹凸や想定落石跳躍高等に対して、必要となる橋高を確保していることが確認できる。</p> <p>支柱間隔、ロープ間隔等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>初期張力を与えたワイヤーロープに緩みがなく、落石のすり抜けがないことが確認できる。</p> <p>支柱周りの基礎擁壁コンクリートに有害なクラックがなく、擁壁と支柱が一体となるように施工していることが確認できる。</p> <p>支柱に作用する外力により基礎擁壁天端にせん断破壊等が生じないよう、支柱のかぶり、建て込み位置を決定していることが確認できる。</p> <p>現地調査結果を反映し、落石エネルギーに対して十分な吸収エネルギーを有することが確認できる。</p> <p>支柱基礎の施工にあたり、周辺地盤を緩めず、滑动しないよう定着していることが確認できる。</p>	<p>土工関係の仕上げが良い。</p> <p>通りが良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>クラックがない。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
<p>鋼矢板工</p> <p>(今回追加)</p>	<p>指定材料の規格・品質が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>鋼矢板の継手部のかみ合わせを確実に施工していることが確認できる。</p> <p>導材を設置し、鋼矢板のふれ、よじれ、倒れを防止していることが確認できる。</p> <p>矢板の打ち込みの際して、隣接矢板が共下がりしていないことが確認できる。</p> <p>ウォータージェット併用工法の場合、打ち止めを併用機械で貫入させ、落ち着かせていることが確認できる。</p> <p>鋼矢板を變形が無いよう運搬、保管し、水平かつ3段以上積み重ねていないことが確認できる。</p> <p>矢板の引き抜き跡の空洞を砂等で充填し、地盤沈下を防いでいることが確認できる。</p> <p>腹起しの施工にあたり、隙間が生じないように矢板と十分に密着していることが確認できる。</p>	<p>土工関係の仕上げが良い。</p> <p>通りが良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>
<p>グラウンドアンカー工</p> <p>(今回追加)</p>	<p>アンカーの施工の際して、着手前に法面の安定、地盤の状況、地中障害物及び湧水を調査していることが確認できる。</p> <p>アンカーの掘削の際して、削孔位置、削孔径、長さ、方向が設計図書と一致しており、周辺の地盤を乱さないように施工していることが確認できる。</p> <p>既存資料により定着層のスライム形状を把握し、削孔中にスライムの状態や削孔速度等により、定着層の位置や層厚を推定しながら施工していることが確認できる。</p> <p>削孔は直線性を保つように施工されており、削孔後の孔内は清水により洗浄し、スライムを除去していることが確認できる。</p> <p>アンカー鋼材に注入材との付着を害するさび、油、泥等が付着していないことが確認できる。</p> <p>アンカー材の注入にあたっては、置換注入と加圧注入により所定の位置に正確に注入していることが確認できる。</p> <p>孔内グラウトの際しては、最低部から注入し、削孔内の排水、排気を確認に行い、所定のグラウトが孔口から排出していることが確認できる。</p> <p>アンカーの緊張、定着については、グラウトが所定の強度に達したのち、緊張力を与え、適正試験、確認試験、定着時緊張力確認試験等により変位特性を確認しながら所定の有効緊張力が得られるように緊張力を与えていることが確認できる。</p>	<p>土工関係の仕上げが良い。</p> <p>通りが良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p>